

食育だより

6月は「食育月間」です。「食事のマナー」というと、何を思いうかべますか?一緒に食事をとる家族や友達、生産者さんや調理員さんたち、食事作りにかかわった人たちに対する「心づかい」です。マナーを守って食事をすると、きっと食事がもっと楽しくなりますよ。心身の成長にも大きく影響しますので、この機会に普段の食生活を見直してみましょう!

姿勢を正して!

よい姿勢とは?テーブルと体の間をこぶし一つ分くらい開け、いすにきちんと腰かけて、背筋をまっすぐにのばした状態です。

食器をきちんと持って!

りんごグミ

茶わんやはしはきちんと持って食べるようにしましょう。食べやすく、 見た目も美しく見えます。



他人の迷惑にならない!

口に食べ物を入れたまま、食事中にふさわしくない話をしたりすると、他の人の迷惑になるので気を付けましょう。

感謝の気持ちを忘れないで!

食事を作ってくれた人や、命あるものをいただくという感謝の気持ちを忘れないで、残さず食べるようにしましょう。

歯と口の健康週間

6月4日~6月10日は、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会が実施している全国統一の歯と口の健康週間です。それにともなって豊郷地域学校園では、4校共通献立「かみかみメニュー」を実施しました。どれも噛みごたえのあるものやカルシウムが多く入っているメニューとなっています。

「あご疲れた〜」や「いつも以上によく噛めた!」など 子供たちは固いものに苦戦しながらも楽しんでいる様子でした。

6月4日 6月5日 6月7日 ミルクトースト 鮭ごはん 枝豆ごはん 牛乳 牛乳. 牛乳 大豆とじゃこの オムレツ 酢豚 ごまサラダ かみかみ揚げ 茎わかめスープ チリコンカン かんぴょうのごまあえ マスカットゼリー

根菜の煮物

よく噛むとどんな 効果があるの?

- 1 消化促進
- ② 虫歯予防
- ③ 肥満予防
- ④ 頭がよくなる

成長に不可欠なカルシウム

カルシウムは、わたしたちの身体の骨や歯に約99%貯蔵されています。残りの 0.9%は細胞内外の体液に、0.1%は血液中に存在しています。

子供の成長にとってカルシウムは、とても大切な栄養素の一つで、歯の生え変わりの時期にカルシウムが不足すると、基礎が十分でない歯ができてしまう可能性があります。成長期に必要なカルシウムは一日平均700gとなっています。学校給食では、牛乳が毎日出て必要なカルシウムを補給できるようにしていますが、給食だけでは足りない部分をぜひご家庭でも取り入れるようにしてくださいね。

一日に必要なカルシウム700mg給食で摂れるカルシウム300mg

お家で摂ってほしいカルシウム 400mg

カルシウム400mg摂るには・・・ 例えば

・プロセスチーズ 約65g

ヨーグルト(無糖) 約330g

•豆腐 約330g(1丁)



いろんな種類を毎日摂ることが大切です!継続は力なり!

5月分学浓給食野蒜

 茨城県
 はくさい ねぎ
 徳島県
 にんじん

 だいこん
 佐賀県
 たまねぎ

埼玉県にんじん ねぎ長崎県じゃがいも千葉県キャベツ栃木県だいこん たまねぎ

神奈川県 キャベツ 宇都宮 もやし

地产地消 野菜

きゅうり・アスパラガス

給食食材の放射性物質検査結果

宇都宮市で収穫された「きゅうり」を検査に提出しました。 検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウム共に不検出でした。

